



青少年音楽、学校教育の振興に功績が顕著な団体と個人に表彰状を授与します

習志野市青少年音楽振興基金及び習志野市教育文化振興基金条例に基づく市長賞、並びに習志野市教育委員会顕彰規程に基づき、青少年音楽または学校教育の振興について、その功績が顕著であるものに表彰状を授与します。

日 時:平成29年6月29日(木)9時00分から9時30分まで

場 所:習志野市役所 3階 大会議室

主 催:習志野市教育委員会

対象・対象者数:

習志野市青少年音楽振興基金条例に基づく市長賞

表彰状 団体 1団体

習志野市立第五中学校 吹奏楽部

○第40回全日本アンサンブルコンテスト

・中学校の部 金賞

習志野市教育文化振興基金条例に基づく市長賞

表彰状 個人 2名

習志野市立習志野高等学校 柔道部 市川 龍之介(いちかわ りゅうのすけ)さん

○第39回全国高等学校柔道選手権大会

・男子60kg級 優勝

習志野市立習志野高等学校 ボクシング部 堤 駿斗(つつみ はやと)さん ※代理出席

○第1回ユース国際ボクシングトーナメント

・バンタム級 優勝

○平成28年度第28回全国高等学校ボクシング選抜大会

兼 JOCジュニアオリンピックカップ

・バンタム級 第1位



習志野市教育委員会顕彰規程に基づく表彰

表彰状 団体 1団体

個人 2名

【団体】

習志野市立第五中学校 吹奏楽部

○第40回全日本アンサンブルコンテスト

・中学校の部 金賞

【個人】

習志野市立習志野高等学校 柔道部 市川 龍之介(いちかわ りゅうのすけ)さん

○第39回全国高等学校柔道選手権大会

・男子60kg級 優勝

習志野市立習志野高等学校 ボクシング部 堤 駿斗(つつみ はやと)さん ※代理出席

○第1回ユース国際ボクシングトーナメント

・バンタム級 優勝

○平成28年度第28回全国高等学校ボクシング選抜大会

兼 JOCジュニアオリンピックカップ

・バンタム級 第1位

※ 習志野高等学校 ボクシング部 堤さんは、表彰式当日、ASBCアジアユース選手権大会(バンコク(タイ))出場の為、欠席となります。なお、授与式には、ボクシング部顧問が代理で出席されます。

その他:別紙(次第)のとおり

問合せ:学校教育部 教育総務課 担当者 小川 勝巳・黒岩 華奈子 電話番号 047-451-1122



習志野市ご当地キャラ
ナラシド♪

**習志野市青少年音楽振興基金
習志野市教育文化振興基金
市長賞授賞式**

習志野市教育委員会顕彰授賞式

日 時 平成29年6月29日（木）午前9時00分から

場 所 習志野市庁舎 3階 大会議室

習志野市教育委員会

習志野市青少年音楽振興基金条例に基づく市長賞

習志野市立第五中学校 吹奏楽部

- 第40回 全日本アンサンブルコンテスト
- ・中学校の部 金賞

習志野市教育文化振興基金条例に基づく市長賞

習志野市立習志野高等学校 柔道部 いちかわ市川 りゅうのすけ龍之介さん

- 第39回全国高等学校柔道選手権大会
- ・男子60kg級 優勝

習志野市立習志野高等学校 ボクシング部 つつみ堤 はやと駿斗さん

- 第1回ユース国際ボクシングトーナメント
- ・バンタム級 優勝
- 平成28年度第28回 全国高等学校ボクシング選抜大会
兼JOCジュニアオリンピックカップ
- ・バンタム級 第1位

習志野市教育委員会顕彰

習志野市立第五中学校 吹奏楽部

- 第40回 全日本アンサンブルコンテスト
- ・中学校の部 金賞

習志野市立習志野高等学校 柔道部 いちかわ市川 りゅうのすけ龍之介さん

- 第39回全国高等学校柔道選手権大会
- ・男子60kg級 優勝

習志野市立習志野高等学校 ボクシング部 つつみ堤 はやと駿斗さん

- 第1回ユース国際ボクシングトーナメント
- ・バンタム級 優勝
- 平成28年度第28回 全国高等学校ボクシング選抜大会
兼JOCジュニアオリンピックカップ
- ・バンタム級 第1位

《式 次 第》

I 市歌斉唱

II 市長賞 表彰状等授与

習志野市立第五中学校 吹奏楽部

表彰状	市 長 ⇒	おおば 大場 ゆい 友結さん (3年生)
ブロンズ	市 長 ⇒	たなべ 田邊 そうき 奏貴さん (3年生)
記念品	市 長 ⇒	ふじ 藤 かすみ 香澄さん (3年生)

習志野市立習志野高等学校 柔道部

表彰状、ブロンズ、記念品	市 長 ⇒	いちかわ 市川 りゅうのすけ 龍之介さん (3年生)
--------------	-------	--

習志野市立習志野高等学校 ボクシング部

表彰状、ブロンズ	市 長 ⇒	つつみ 堤 はやと 駿斗さん (3年生)
	※代理	せきも 関茂 みねかず 峰和先生 (顧問)

III 教育委員会顕彰 表彰状等授与

習志野市立第五中学校 吹奏楽部

表彰状	教育長 ⇒	ふじ 藤 かすみ 香澄さん (3年生)
記念品	教育長 ⇒	おおば 大場 ゆい 友結さん (3年生)

習志野市立習志野高等学校 柔道部

表彰状、記念品	教育長 ⇒	いちかわ 市川 りゅうのすけ 龍之介さん (3年生)
---------	-------	--

習志野市立習志野高等学校 ボクシング部

表彰状、記念品	教育長 ⇒	つつみ 堤 はやと 駿斗さん (3年生)
	※代理	せきも 関茂 みねかず 峰和先生 (顧問)

IV 市長挨拶

V 教育長挨拶

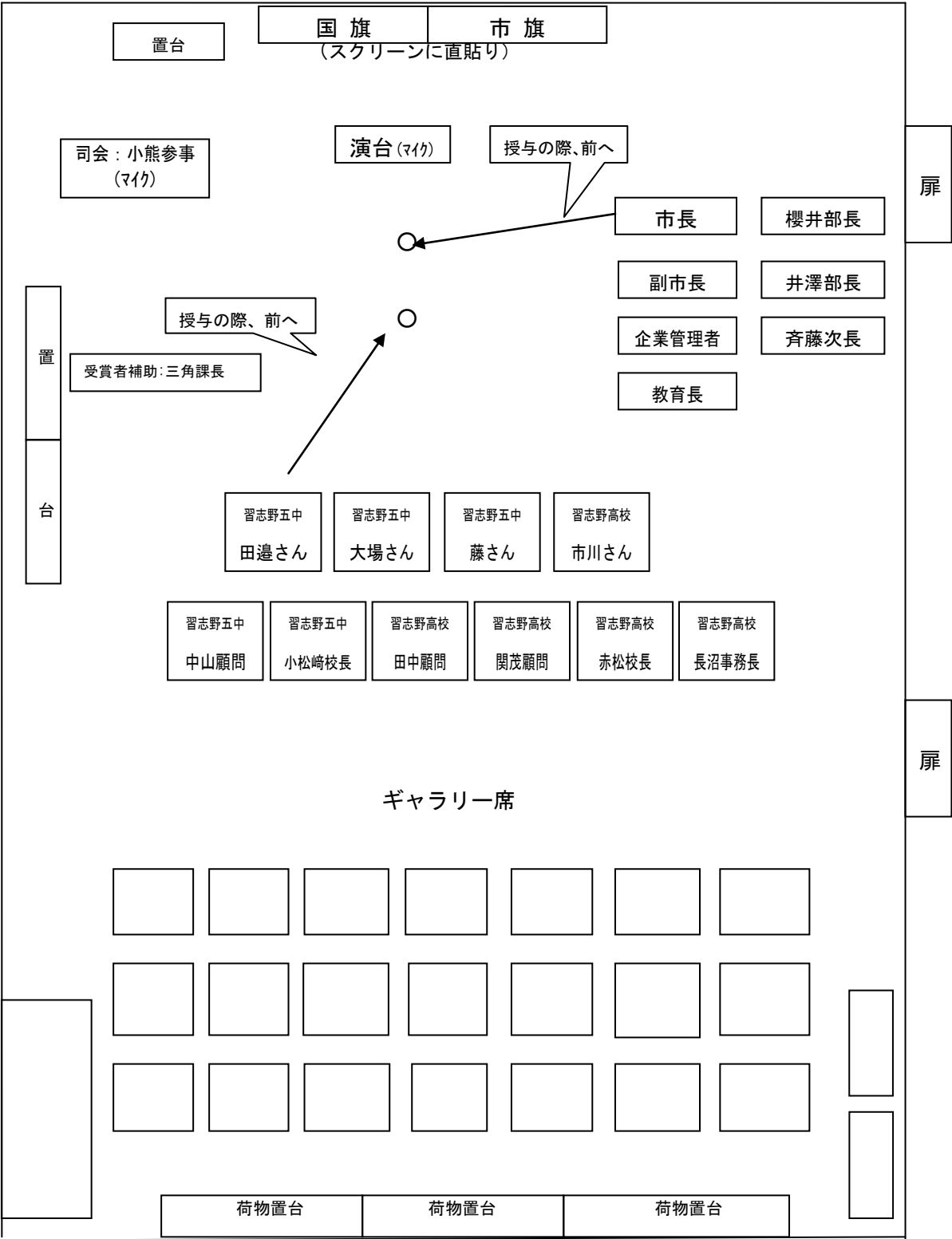
VI 受賞者のことば

受賞者挨拶

習志野市立第五中学校	吹奏楽部	たなべ 田邊	そうき 奏貴さん	(3年生)
習志野市立習志野高等学校	柔道部	いちかわ 市川	りゅうのすけ 龍之介さん	(3年生)
習志野市立習志野高等学校	ボクシング部	つつみ 堤	はやと 駿斗さん	(3年生)

※代理 関茂 峰和先生 (顧問)

<<配置図>>
 習志野市庁舎
 3階
 大会議室



<<写真撮影時>>

後列 立位	関茂顧問 (ブロンズ)	赤松校長	副市長	市長	教育長	企業管理者	小松崎校長
前列 イス		藤さん (記念品)	大場さん (市表彰状)	田邊さん (ブロンズ)	市川さん (市表彰状)		

第40回 全日本アンサンブルコンテスト

【全日本アンサンブルコンテストとは】

全日本アンサンブルコンテストとは、3～8人によるアンサンブルを競うコンテスト。1978年に東京・武蔵野音楽大学ベートーベンホールで「第1回全日本アンサンブルコンテスト」が開かれた。小編成アンサンブルの演奏精度を高めることが大切、という趣旨から始まった。全日本吹奏楽コンテストと同様に中学、高校、大学、職場・一般の部門がある。

【開催概要】

開催日 平成29年3月18日(土)

会場 あましんアルカイックホール(兵庫県尼崎市)

習志野市立第五中学校 吹奏楽部

♪ 吹奏楽部の紹介をお願いします。

「歌って走って踊れるバンド」をモットーに、地域に愛され、応援される部活を目指して、1～3年生76名で元気に活動しています。コンクールの他、地域の祭り、敬老行事などにも積極的に参加しています。

♪ 第40回全日本アンサンブルコンテストの受賞曲について。

マルコム・アーノルド作曲「ディヴェルティメント」より

「ディヴェルティメント」はモーツァルトをはじめとした一流の作曲家も愛した形式で、日本語訳では「嬉遊曲」とあてられることが多いです。快活な楽章、おどけたパッセージ、またメランコリックなメロディー。そして雄大なスケールの楽章と3本の楽器で音楽の魅力を余すことなく表現しています。

♪ 練習、本番でのエピソードがあれば教えてください。

音程を合わせたり、細かい部分を分解してやったりできることを考えて行いました。

本番前、当日に他の部員が多くのお応援メッセージを作ってくれて、自分たち3人の支えになってくれました。自分たちを応援してくれて、とても嬉しかったです。

♪ 金賞受賞の感想をお聞かせください。

皆さんの支えがあって、最後までやることができたので、感謝の気持ちでいっぱいです。

♪ 今後の目標をお聞かせください。

- ・聴いてくださる方々へ、感動をお届けできるような演奏をしたいです。
- ・全国大会に出場して、金賞を取ることです。

第39回全国高等学校柔道選手権大会

【全国高等学校柔道選手権大会とは】

全国高等学校柔道選手権大会とは、毎年3月に東京の日本武道館で開催される高等学校柔道大会である。1979年に男子団体戦の全国大会として始まった。通称で「春の武道館」もしくは「春高」とも呼ばれる。

【開催概要】

開催日 平成29年3月19日(日)
会 場 日本武道館(東京都千代田区)

習志野市立習志野高等学校 柔道部 市川 龍之介さん

★自己紹介をお願いします。

出身小学校 船橋市立小栗原小学校

出身中学校 船橋市立葛飾中学校

柔道を始めたのは、幼稚園の年中から、きっかけは父が柔道の先生をしていたためです。

得意とする技は、内股、肩車で、攻守の切り替えが持ち味です。

柔道の魅力は、自分より大きい人を投げた時です。

難しいところは、体重の重い選手を投げるところです。

練習の中で気を付けていることは、試合の場面を考えながらやっています。

★市川さんのこれまでの成績について

全国中学校大会 3位

第38回全国高等学校柔道選手権大会 男子60kg級 優勝

第39回全国高等学校柔道選手権大会 男子60kg級 優勝

★第39回全国高等学校柔道選手権について

①大会にはどんな気持ちで臨みましたか？

チャレンジャーの気持ちで臨みました。

②大会の内容をお願いします。(ポイントとなった技、場面、勝因等)

先に指導をとり、前に出てきた相手にあわせて技に入り、技有りをとりました。

③大会を振り返っての感想をお願いします。

しっかりと自分の力で勝てたので良かったです。

★今後の目標をお聞かせください。

インターハイで優勝し、国際大会やシニアの大会で活躍し、オリンピックで優勝することです。

第 1 回 ユース国際ボクシングトーナメント

【ユース国際ボクシングトーナメントとは】

ユース国際ボクシングトーナメントとは、カザフスタンで開催された国際試合であり、正しくは、第1回ユース国際ボクシングトーナメントカザフスタン共和国ボクシング連盟名誉会長Makhamutov Beket Sapabekovicjh杯という。

【開催概要】

開催日 平成29年3月8日(水)～3月12日(日)

会 場 ウラルスク市(カザフスタン)

平成 2 8 年度第 2 8 回全国高等学校ボクシング選抜大会

兼 J O C ジュニアオリンピックカップ

【全国高等学校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップとは】

全国高等学校選抜大会の一つではあるが、JOCジュニアオリンピックカップも兼ねて行われ、各階級優勝者の中からJOC賞を授与する。

【開催概要】

開催日 平成29年3月20日(月)～平成29年3月24日(金)

会 場 OKBぎふ清流アリーナ(岐阜県岐阜市)

習志野市立習志野高等学校 ボクシング部 堤 駿斗さん

★ 自己紹介をお願いします。

出身小学校 千葉市立院内小学校

出身中学校 千葉市立椿森中学校

ボクシングを始めたのは、もともと格闘技が好きで、兄がボクシングをしているのを見てとても楽しそうだったからです。

得意とする技は、ジャブとボディフック。

ボクシングの魅力は、最後の1秒までなにが起こるかわからないところ。

難しいところは、練習したことをそのまま試合で出せないところです。

練習の中で気を付けていることは、自分で決めた課題をクリアするよう心がけています。

★堤さんのこれまでの成績について

平成26年度全日本UJ王座決定戦 中学生52kg 1位
平成26年度U-15全国ボクシング大会 52.5kg級 1位
平成26年度全国UJボクシング大会 中学生54kg 1位
2015アジアジュニア選手権 バンタム級日本代表
2015世界ジュニア選手権 バンタム級日本代表
平成27年度全国高等学校総合体育大会 ボクシング競技 フライ級 2位
第70回国民体育大会ボクシング競技 少年男子 フライ級 1位
平成27年度第27回全国高等学校ボクシング選抜大会 兼 JOCジュニア
オリンピックカップ フライ級 優勝 JOC受賞
ASBCアジアユース選手権大会 フライ級 優勝
平成28年度全国高等学校総合体育大会 ボクシング競技 フライ級 1位
2016AIBA世界ユース選手権 フライ級 優勝
第1回ユース国際ボクシングトーナメント バンタム級 優勝
平成28年度第28回全国高等学校ボクシング選抜大会 兼 JOCジュニア
オリンピックカップ バンタム級 第1位 JOC受賞
平成29年度第59回関東高等学校ボクシング大会 バンタム級 優勝

★第1回ユース国際ボクシングトーナメントについて

①大会にはどんな気持ちで臨みましたか？

昨年11月の世界大会では優勝できましたが、階級を上げて初の試合だったので、「挑戦」の気持ちで臨みました。

②大会の内容をお願いします。(ポイントとなった技、場面、勝因等)

海外の選手にはボディへの攻撃がとても有効であることを知ったので、ボディをたくさん打つように心がけました。そのボディうちが勝敗のポイントになりました。

③大会を振り返っての感想をお願いします。

海外の選手とたくさん戦えて、とても良い経験になった。この経験を今年のアジアユース選手権につなげたいです。

★平成28年度第28回全国高等学校ボクシング選抜大会 兼JOCジュニアオリンピックカップについて

①大会にはどんな気持ちで臨みましたか？

バンタム級のトーナメントで優勝するだけでなく、全階級優勝者の中から1人選ばれる、JOCジュニアオリンピックカップ2年連続受賞を目指しました。

②大会の内容をお願いします。(ポイントとなった技、場面、勝因等)

一回戦から決勝まで、自分のボクシングをすることができたので、それが勝因であると思います。

③大会を振り返っての感想をお願いします。

一回戦の判定以外はすべてTKOで勝てたことと、目標としていたJOCジュニアオリンピックカップ2年連続受賞できたことがよかったです。

★ 尊敬する選手はいますか。

井上尚弥選手：プロボクサー。神奈川県座間市出身。第36代日本ライトフライ級王者。第33代OPBF東洋太平洋ライトフライ級王者。第33代WBC世界ライトフライ級王者。第17代WBO世界スーパーフライ級王者。世界最速での2階級制覇王者。新磯高校（現・相模原青陵高校）1年でインターハイ・国体・選抜の三冠を達成し、アジアユース選手権でも銅メダル獲得。

理由は、ボクシングスタイルがとても魅力的で、自分の理想にとっても近いからです。

★ 今後の目標をお聞かせください。

8月のインターハイ、10月の国民体育大会と高校生の部で優勝するとともに、11月の全日本選手権で大学・社会人の中でも優勝し、はずみをつけ、東京オリンピックに日本代表として出場し、金メダルを獲得したいです。